

## Ⅵ 心豊かな社会をつくる

### 1 教育の充実

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                | 予算額       | 概要   | 部局名                                   |
|-----|----|--------------------|-----------|--|---------------------------------------|
| 244 |    | 高等教育の負担軽減          | 619,041   | 県立大学及び県内私立専修学校で修学する低所得世帯の生徒等に対し、入学金及び授業料の免除にかかる経費を支援   | 総務部<br>[総務課]                          |
| 245 |    | 公立大学法人島根県立大学運営費交付金 | 2,406,006 | 県立大学の教育研究水準の維持向上や大学経営の健全性を確保するため、大学運営に必要な経費を交付 (No.169 再掲)   | 総務部<br>[総務課]                          |
| 246 |    | 私立学校経営健全性確保事業      | 1,453,907 | 私立学校等の教育水準の維持向上、学校経営の健全性の確保や、県内就職の促進、外国人生徒への対応などの課題に対応するため、学校運営費の一部を助成 (No.170 再掲)   | 総務部<br>[総務課]<br>健康福祉部<br>[子ども・子育て支援課] |
| 247 |    | 困難を有する子ども・若者支援事業   | 16,775    | ひきこもりや不登校、発達障がいなど、社会生活を営む上で様々な困難を有する子どもや若者の自立につながる市町村の取組を支援 (No.78 再掲)<br>①就労体験を受け入れる事業所の開拓や関係機関との連携強化などの取組を行う市町村を支援<br>[助成率] 1/2<br>②圏域における支援拠点として、居場所の確保や社会・就労体験など社会とのつながりを回復させる取組を行う市町村を支援<br>[助成率] 1/2<br>③子ども・若者支援機関の相互理解と連携強化の促進 | 健康福祉部<br>[青少年家庭課]                     |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名         | 予算額       | 概要   | 部局名                              |
|-----|----|-------------|-----------|--|----------------------------------|
| 248 | 拡充 | 高等学校等就学支援事業 | 3,703,061 | <p>高等学校等に在籍する生徒等に対する就学支援金等により家庭の教育費負担を軽減（No.118 再掲）</p> <p>1 高等学校等就学支援金（授業料支援）<br/>【拡充】</p> <p>支給上限額の引上げや世帯の収入要件の撤廃等により、公立、私立を問わず、高等学校等に在籍する生徒等に就学支援金を交付し家庭の教育費負担を軽減</p> <p>[R 8 の変更点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校の支給上限額の引上げ<br/>年額 396,000 円<br/>→年額 457,200 円</li> <li>・世帯の収入要件撤廃<br/>年収約 910 万円未満<br/>→年収制限なし</li> <li>・地方負担の導入<br/>国 10/10→国 3/4、県 1/4</li> </ul> <p>2 その他の授業料支援</p> <p>①学び直しへの支援（国 3/4）<br/>高等学校等を中途退学した者が再び学び直す場合に 36 月経過後も継続して授業料を支援（最長 2 年間）</p> <p>②専攻科生への支援（国 1/2）<br/>高等学校等の専攻科に在籍する生徒（年収約 380 万円未満の世帯・多子世帯）に対し授業料を支援</p> <p>3 奨学のための給付金<br/>【拡充】<br/>中所得世帯（家計急変世帯を含む）までの授業料以外の教育費負担を軽減</p> <p>[R 8 の変更点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象世帯の中所得層への拡充<br/>生活保護世帯・個人住民税所得割非課税世帯<br/>→年収約 490 万円未満世帯</li> <li>・国負担割合の変更<br/>1/3→1/2</li> </ul> | 総務部<br>[総務課]<br>教育委員会<br>[学校企画課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                | 予算額    | 概要  | 部局名          |
|-----|----|--------------------|--------|---|--------------|
| 249 |    | 私立学校教育条件<br>維持向上事業 | 60,672 | <p>島根で学ぶ生徒を増やすため、私立学校が行う生徒確保のための取組を支援<br/>(No.171 再掲)</p> <p>①魅力と特色ある学校づくり推進事業<br/>学習環境の向上など、魅力化や特色化につながる設備整備を支援</p> <p>②私立専修学校生徒確保支援事業<br/>WEBを活用したオープンキャンパス開催や学校の紹介動画作成等の取組を支援</p> <p>[助成対象者] 私立専修学校<br/>[助成対象経費]<br/>バス借上経費、オープンキャンパス参加旅費助成、学校説明会参加費、広報費等</p> <p>[助成率] 1/2<br/>[助成上限額]<br/>220 万円／校</p> <p>※県内就職者数が前年と比較して増加している学校は、上限額 50 万円／校を加算</p> | 総務部<br>[総務課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名          | 予算額     | 概要  | 部局名                           |
|-----|----|--------------|---------|---|-------------------------------|
| 250 |    | 県立高校主幹教諭等の配置 | 155,545 | <p>県立高校に高大連携を推進するための主幹教諭等を配置（No.186 一部再掲）</p> <p>①主幹教諭の配置（県単加配）</p> <p>学校全体での授業改善の取組や、地域との協働に加え、県内大学等との高大連携や入試改革に適応した学力の底上げなどの取組を推進するため、教科・分掌の垣根を越えてリードできる管理的職階にある主幹教諭を全ての普通科高校に配置</p> <p>〔R 8 予定〕 21 人</p> <p>②高大連携推進員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合型・学校推薦型選抜による県内大学への入学を希望する生徒の進路実現を図るため、松江、出雲、石見エリアに各 1 名配置</li><li>・島根大学「材料エネルギー学部」の魅力を県内高校生に発信するため、1 名を配置</li></ul> <p>〔R 8 予定〕 4 人</p> | 教育委員会<br>[学校企画課]<br>[教育連携推進課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名        | 予算額                          | 概要   | 部局名                           |
|-----|----|------------|------------------------------|--|-------------------------------|
| 251 | 拡充 | 未来の創り手育成事業 | 797,774<br>[うち補正]<br>240,997 | <p>基礎学力の向上に加え、大学等での学びや理数教科への関心を高め、進路選択の幅を広げる機会を充実するとともに、学校図書館やＩＣＴ機器を活用した文理横断的な教育を推進（No.120 再掲）</p> <p>[事業概要]</p> <p>①しまねの高校生学力育成事業<br/>「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をバランス良く育むための取組を各県立高校が主体的に実施</p> <p>②理数教育の充実に向けた取組<br/>・科学の甲子園（ジュニア・高校生）県予選の開催<br/>・専門高校への理数教員配置【拡充】<br/>理数分野への進学を推進するため、専門高校への理数教員加配を増員<br/>[R 8 予定] 9 人→11 人</p> <p>③学校図書館活用教育研究事業<br/>児童生徒の言語能力、情報活用能力を育成するため、小中学校 6 校をモデル校に指定し研究を実践</p> <p>④県立高校図書館活用教育推進事業<br/>12 学級未満の高等学校に学校司書（会計年度任用職員）を配置</p> <p>⑤司書教諭養成事業<br/>学校図書館の経営や指導について専門的な知識を持つ司書教諭を養成</p> <p>⑥ＩＣＴ活用教育推進事業<br/>・生徒一人一台端末環境に対応するための環境を整備<br/>・公立学校情報機器整備事業基金を造成し、義務教育段階の市町村立学校や特別支援学校における生徒一人一台端末の更新に要する経費を支援<br/>[助成基準額] 5 万 5 千円／台<br/>[負担割合]<br/>県 2/3・学校設置者 1/3</p> <p>⑦しまね学びの縁結びハイスクールネットワーク事業<br/>多様な学習ニーズに対応するための遠隔授業を実施（教員の加配、非常勤講師の配置及び機器等整備）</p> <p>⑧高等学校ＤＸ加速化推進事業<br/>デジタル等成長分野を支える人材育成のため、校内環境を整備</p> | 教育委員会<br>[学校教育課]<br>[教育連携推進課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名      | 予算額                        | 概要  | 部局名   |
|-----|----|----------|----------------------------|---|---|
| 252 |    | 学力育成推進事業 | 181,108<br>[うち補正]<br>5,000 | <p>市町村と連携し、学力の実態把握や授業の質の向上など、学力育成の取組を推進（No.121 再掲）</p> <p>①学力定着状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望する全ての小中学校を対象に、学習のつまづきを把握する調査（「たつじんテスト」）を実施</li> <li>[負担割合] 県 1/2・市町村 1/2</li> <li>全国学力調査等の課題を踏まえた評価問題及び授業プランの作成等を実施</li> </ul> <p>②グローバル人材育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語によるコミュニケーションの推進</li> </ul> <p>③外国語（英語）教育における授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手の活用</li> <li>A I を英語の授業等で活用するモデル校を指定し、英語教育を充実</li> </ul> | 教育委員会<br>[学校教育課]  |
| 253 |    | 幼児教育推進事業 | 33,270                     | <p>幼稚園教諭・保育士・小学校教諭等への研修を行うとともに、架け橋期の教育を推進するための体制整備に取り組む市町村を支援し、幼児教育の質の向上、幼小連携・接続を推進（No.116、183 再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村の幼児教育施設訪問指導への幼児教育担当指導主事及び幼児教育コーディネーターによる同行支援</li> <li>県主催研修の実施や市町村が実施する幼児教育施設と小学校の連携・接続に向けた研修の支援</li> <li>全県に好事例を展開するために、幼小連携・接続に積極的な市町村の取組を研究・支援</li> <li>未就学児への体力向上や読み聞かせの取組を推進</li> </ul>   | 健康福祉部<br>[子ども・子育て支援課]<br>教育委員会<br>[学校教育課]<br>[保健体育課]<br>[社会教育課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名   | 予算額     | 概要   | 部局名  |
|-----|----|---|---------|--|--|
| 254 |    | <p>インクルーシブ教育システム構築事業</p> <p>(注) インクルーシブ教育システム：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み</p> | 143,803 | <p>全ての学びの場で特別支援教育を充実させることで、障がいのある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、地域を支える人材を育成 (No.125 再掲)</p> <p>①発達障がいの可能性のある子どもへの支援事業<br/>特別支援学校の教員などの専門性を活用し、小中学校等への相談・支援を充実</p> <p>②高等学校特別支援教育充実事業<br/>・県立高校において、障がいにより学習や生活に困難さがある生徒が適切な指導を受けられるよう、巡回指導を行う教員を拠点校に配置し、通級指導を充実<br/>・合理的配慮アドバイザーを県教育委員会に配置</p> <p>③切れ目ない支援体制整備事業<br/>関係機関と連携し、個別の教育支援計画の作成・活用による引継ぎ体制を充実</p> <p>④特別支援学校機能向上事業<br/>安全で安心な医療的ケア実施に向けた学校看護師の配置等の体制を整備</p> <p>⑤特別支援学校と地域の連携強化事業<br/>地域活動やスポーツ文化活動を通じて、教育活動を地域に広げる取組を実施</p> <p>⑥LDのある子どもの多様な学び推進事業<br/>市町村教育委員会と各学校を対象として、LD (学習障がい) のある児童生徒への指導・支援に関する研修や指導助言を実施</p> | <p>教育委員会<br/>[総務課]<br/>[学校企画課]<br/>[特別支援教育課]</p> |
| 255 |    | 特別支援学校における通学支援  | 51,430  | <p>通学を要因とした保護者の負担を軽減するため、スクールバスの運行や、朝の早い時間から児童生徒を預けられる環境を整備 (No.119 再掲)</p>  | <p>教育委員会<br/>[特別支援教育課]</p>                       |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名               | 予算額     | 概要   | 部局名                         |
|-----|----|-------------------|---------|--|-----------------------------|
| 256 |    | 特別支援学校職業教育・就業支援事業 | 14,194  | <p>特別支援学校高等部において、生徒の希望や適性に応じた進路先の確保や就職後の定着、技能向上に向けた取組を推進(No.88 再掲)</p> <p>①進路指導の充実<br/>特別支援学校に非常勤講師を配置し、進路指導に必要な時間を確保することで、卒業生のアフターケアや在校生の職場体験受入先の開拓などを実施<br/>[実施校]<br/>6校(松江養護学校、出雲養護学校、石見養護学校、浜田養護学校、益田養護学校、隠岐養護学校)</p> <p>②技能の向上<br/>合同学習や学習成果の発表を通じて、生徒の意欲や職業スキルの向上を促進</p> | 教育委員会<br>[特別支援教育課]          |
| 257 |    | 障がい者就業支援事業        | 279,770 | <p>特別支援学校卒業者等を特別支援学校等の会計年度任用職員として任用し、職業能力や職業意識の向上を図り障がい者の職場定着を支援<br/>[特別支援学校] 全12校<br/>[教育事務所] 出雲<br/>[その他]<br/>教育庁総務課、県立図書館、埋蔵文化財調査センター</p>   | 教育委員会<br>[総務課]<br>[特別支援教育課] |
| 258 |    | 食育推進事業            | 4,300   | <p>食育を通じて次代を担う子どもの望ましい食習慣の形成を推進</p> <p>①食の学習ノート活用事業<br/>副教材「食の学習ノート」(小中学生版、高校生版)の作成</p> <p>②栄養教諭を対象とした研修</p> <p>③高校生を対象とした啓発の取組<br/>朝食欠食など課題の多い高校生を対象に「みそ汁コンテスト」を開催、食に関する指導の全体計画の作成促進のための支援を実施</p>   | 教育委員会<br>[保健体育課]            |



(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名         | 予算額     | 概要  | 部局名   |
|-----|----|-------------|---------|---|---|
| 259 |    | 子ども読書活動推進事業 | 280,382 | <p>学校図書館の充実と活性化による図書館を活用した教育を推進するとともに、家庭や地域における子ども読書活動を推進（No.120、122 一部再掲）</p> <p>①小中学校等</p> <p>小中学校等の学校図書館を拠点に児童生徒一人ひとりに寄り添った学びの支援を行うため、「学びのサポーター」または「学校司書」を配置する市町村を支援</p> <p>[助成率]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びのサポーター<br/>市 1/2・町村 2/3</li> <li>・学校司書<br/>市町村 1/3</li> </ul> <p>②特別支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校に学校司書を配置</li> <li>・学校司書の研修、図書の整備を実施</li> </ul> <p>③県立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書・読書ボランティアの研修</li> <li>・子ども向け図書の充実</li> </ul> <p>④読み聞かせや親子読書の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまね子ども読書フェスティバル等の実施</li> <li>・読み聞かせの記録手帳の作成・配布により家族による読み聞かせを推進</li> </ul> | <p>教育委員会</p> <p>[学校教育課]</p> <p>[特別支援教育課]</p> <p>[社会教育課]</p> |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                   | 予算額     | 概要  | 部局名              |
|-----|----|-----------------------|---------|---|------------------|
| 260 |    | 学校司書等による<br>学びのサポート事業 | 160,099 | 学校図書館を拠点に児童生徒一人ひとりに寄り添った学びの支援を行う「学びのサポーター」又は「学校司書」を配置する市町村を支援（No.122 再掲、No.259 一部再掲）<br>①市町村配置経費への助成<br>[助成率]<br>・学びのサポーター<br>市 1/2・町村 2/3<br>・学校司書<br>市町村 1/3<br>②市町村職員への研修支援<br>学びのサポーターの資質向上に向けた研修会を開催 | 教育委員会<br>[学校教育課] |
| 261 |    | ふるさと教育推進<br>事業        | 23,426  | 地域の教育資源（ひと・もの・こと）を活かし、子どもたちのふるさとへの愛着・誇り、貢献意欲や、確かな学力、実行力の育成に取り組む市町村を支援（No.185 再掲）  | 教育委員会<br>[社会教育課] |
| 262 | 新規 | 高等学校教育振興<br>事業        | 9,860   | ネクストハイスクール構想に基づく、県立高等学校における魅力化及び特色化等の取組を推進するため、事業内容の検討や、計画的に実施するための環境を整備（基金事業（国 10/10））   | 教育委員会<br>[学校教育課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名           | 予算額      | 概要   | 部局名                           |
|-----|----|---------------|----------|--|-------------------------------|
| 263 |    | 教育魅力化人づくり推進事業 | 247, 112 | <p>学校と地域が協働して取り組む「教育の魅力化」を支援（No.186 再掲、No.148、250 一部再掲）</p> <p>①学校と地域が一体となって子どもたちを育む協働体制（高校魅力化コンソーシアム）の運営を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働体制に係る運営マネージャーの配置を支援</li> <li>・協働体制の運営に係る経費を支援</li> </ul> <p>②地域資源を活用した特色ある教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の協働による探究学習の取組を支援</li> <li>・県外生徒募集の取組を支援</li> </ul> <p>③探究学習に携わる人材の育成、確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な探究学習を行うことができる教職員育成を目的とした研修会等を実施</li> </ul> <p>④教育魅力化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協働した教育活動による生徒の意識変容を測る取組を実施</li> </ul> | 教育委員会<br>[学校教育課]<br>[教育連携推進課] |
| 264 |    | 高校生の住まい確保支援事業 | 91, 359  | <p>市町村が行う地域の実情に沿った高校生の住まい確保のための取組を支援</p> <p>①みなし寄宿舎に対する運営費支援</p> <p>市町村が整備した公共的施設を県立高校の寄宿舎として活用する場合に、その運営に要する費用を助成<br/>[助成割合・助成額]</p> <p>県が算定した標準的運営経費の10/10<br/>(1施設 530 万円～920 万円程度)</p> <p>②共同下宿に対する運営費支援</p> <p>市町村が古民家等の地域資源を共同下宿として活用する場合に、その運営に要する費用を助成<br/>[助成割合・助成額]</p> <p>県が算定した標準的運営経費の1/2 を上限</p>   | 教育委員会<br>[学校企画課]              |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                          | 予算額    | 概要   | 部局名              |
|-----|----|------------------------------|--------|--|------------------|
| 265 |    | 結集！しまねの子<br>育て協働プロジェ<br>クト事業 | 61,918 | 市町村が実施する学校支援、放課後支<br>援、家庭教育支援等の経費を助成 (No.115、<br>184 再掲)<br>〔負担割合〕 国 1/3・県 1/3・市町村 1/3                                     | 教育委員会<br>〔社会教育課〕 |
| 266 |    | 全国中学校体育大<br>会開催費支援事業         | 27,844 | 令和 8 年度全国中学校体育大会中国ブ<br>ロック大会開催に係る経費を支援<br>〔開催時期〕 R8.8 月<br>〔競技〕<br>バスケットボール（出雲市、松江<br>市）、軟式野球（出雲市、松江市、安来<br>市）、ソフトテニス（松江市） | 教育委員会<br>〔保健体育課〕 |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名           | 予算額     | 概要  | 部局名                              |
|-----|----|---------------|---------|---|----------------------------------|
| 267 |    | 悩みの相談・不登校対策事業 | 293,692 | <p>いじめ、不登校等の課題に対し、未然防止や早期発見・対応の取組を推進（No.171 一部再掲、No.124 再掲）</p> <p>①生徒指導体制充実強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の意欲や満足感及び学級集団の状態を客観的に把握するアンケートＱＵをいじめの未然防止、早期発見等に活用する市町村を支援</li> </ul> <p>〔実施対象〕<br/>小学校３年生～中学校３年生</p> <p>〔負担割合〕<br/>県 1/2・市町村 1/2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士、臨床心理士等の外部人材をアドバイザーとして学校等に派遣</li> <li>・「島根県生徒指導審議会」、「島根県いじめ問題対策連絡協議会」の開催</li> </ul> <p>②悩みの相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー配置</li> <li>・国補助事業を活用し、校内教育支援センター支援員を配置する市町村を支援</li> </ul> <p>〔負担割合〕<br/>国 1/3・県 1/3・市町村 1/3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ等に関する相談窓口（来所・電話・SNS）</li> <li>・「こころ・発達」教育相談</li> <li>・教育相談員の配置</li> </ul> <p>③不登校対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターへの支援<br/>不登校児童生徒に対する学校復帰や社会的自立への支援を行う教育支援センターの運営等を支援</li> <li>・「生徒指導の４つの視点から考える子どもの自己実現支援講座」の実施</li> <li>・不登校児童生徒が増加する中、市町村教育委員会やフリースクール等が参加する連絡協議会において、不登校児童生徒や保護者に対する支援の充実について意見交換</li> </ul> | 教育委員会<br>〔学校教育課〕<br>総務部<br>〔総務課〕 |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                  | 予算額     | 概要  | 部局名                         |
|-----|----|----------------------|---------|---|-----------------------------|
| 268 |    | 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業 | 247,417 | <p>日本語指導が必要な児童生徒等への支援（No.126 再掲、No.175 一部再掲）</p> <p>①帰国・外国人児童生徒に対し支援体制を整備する市町村を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教育課程」による日本語指導の実施</li> <li>・拠点校の設置等による指導体制の構築</li> </ul> <p>②日本語指導が必要な小中学校に教員を配置</p> <p>[R 8 予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 14 人</li> <li>・中学校 8 人</li> </ul> <p>③宍道高校における日本語指導体制の強化</p> <p>④宍道高校以外の県立学校の支援体制を整備</p> <p>⑤教職員研修の充実</p> | 教育委員会<br>[学校企画課]<br>[学校教育課] |
| 269 |    | 学校と福祉の連携の推進          | 47,951  | <p>困難な状況にある子どもたちの早期把握や、適切な支援につなげるため研修等を通じて教職員の福祉に対する理解を促進し、学校とスクールソーシャルワーカーとの連携強化を図りながら、学校・家庭・地域・福祉の関係機関が連携して子どもたちへの支援を実施（No.128 再掲）</p> <p>①スクールソーシャルワーカー活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と社会福祉の関係機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの活用</li> </ul> <p>②学校・福祉連携モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と福祉が一体となった支援の在り方を検討し、その成果を全ての県立学校に展開させるための研修等を実施</li> </ul>           | 教育委員会<br>[人権同和教育課]          |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                   | 予算額       | 概要   | 部局名              |
|-----|----|-----------------------|-----------|--|------------------|
| 270 |    | 特色ある学校づくりを支援する少人数学級編制 | 1,212,309 | <p>国において小学校の学級編制の基準を令和3年度から学年進行で見直し、全学年を35人にする方針を踏まえ、以下のとおり対応（No.123 再掲）</p> <p>①小学1・2年<br/>R2年度の県の見直し方針に基づき、少人数学級編制を実施（学校の実態等を踏まえ、常勤講師又は非常勤講師を配置することも可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年 30人学級編制</li> <li>・小学2年 32人学級編制</li> </ul> <p>（国編制基準 35人）</p> <p>②中学2・3年<br/>R2年度の県の見直し方針に基づき、38人学級編制を実施</p> <p>（国編制基準 40人）</p> <p>③課題解決・制度改正対応のための加配</p> <p>児童生徒支援、教科指導方法工夫改善及び人材育成に関わる、学校の抱える課題の解決に取り組む指導体制を支援するための加配</p> <p>※上記による県独自の少人数学級編制等に伴う加配教員数 108人</p> <p>※国による学級編制の基準見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R3見直し 小学2年 40人→35人</li> <li>R4見直し 小学3年 40人→35人</li> <li>R5見直し 小学4年 40人→35人</li> <li>R6見直し 小学5年 40人→35人</li> <li>R7見直し 小学6年 40人→35人</li> <li>R8見直し 中学1年 40人→35人</li> </ul> | 教育委員会<br>[学校企画課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                   | 予算額     | 概要   | 部局名              |
|-----|----|-----------------------|---------|--|------------------|
| 271 |    | 学びの場を支える<br>非常勤講師配置事業 | 662,613 | <p>不登校・いじめ・問題行動等の未然防止や、特別な配慮を要する児童生徒への対応等のため非常勤講師を配置</p> <p>1 中1ギャップに対応するための非常勤講師配置事業（中学校クラスサポート事業）</p> <p>環境が大きく変化する中学校1年生を対象に、生活面・学習面からきめ細かい支援を行うため、必要性の高い大規模校に非常勤講師を配置<br/>〔R8 予定〕29人</p> <p>2 特別な支援のための非常勤講師配置事業（にこにこサポート事業）</p> <p>①通常の学級に自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等発達障がいのある児童が在籍し、特に対応が困難な小学校を対象に非常勤講師を配置<br/>〔R8 予定〕100人</p> <p>②児童生徒の障がいの多様性や突発的な行動にきめ細かく対応するため、小・中学校の特別支援学級のうち多人数の学級に非常勤講師を配置<br/>〔R8 予定〕70人</p> <p>3 自学教室等での個別指導の充実に係る非常勤講師配置事業（学びいきサポート事業）</p> <p>自学教室等を設置して個別に指導を行う必要のある中学校に非常勤講師を配置<br/>〔R8 予定〕35人</p> <p>※上記1、2①及び3は、市町村教育委員会の判断で、複数校勤務させることが可能</p> | 教育委員会<br>〔学校企画課〕 |



(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                | 予算額       | 概要   | 部局名   |
|-----|----|--------------------|-----------|--|---|
| 272 | 拡充 | 教職員の働き方改革の推進（県立学校） | 2,307,356 | <p>教職員が子どもに向き合える時間を確保し、教育の質の向上等を図るため、地域の幅広い人材を活用しつつ、県立学校における働き方改革を推進（No.121、124、126、128、175、187、252、267、268、269一部再掲）</p> <p>1 サポート人材の配置<br/> 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制を強化するため、教員が行う事務作業等をサポートする人材を配置</p> <p>①県立学校へのアシスタントの配置<br/> 県立高等学校等の教員が行う事務作業等を代わって行う会計年度任用職員を配置 <b>【拡充】</b><br/> 〔負担割合〕<br/> 高等学校 県 10/10<br/> 特別支援学校 国 1/3・県 2/3</p> <p>②県立学校への教頭マネジメント支援員の配置<br/> 県立高等学校等の教頭の業務支援を行う会計年度任用職員を配置<br/> 〔負担割合〕 国 1/3・県 2/3</p> <p>2 部活動地域人材活用支援事業 <b>【拡充】</b><br/> 教員に代わって専門的な指導を行う部活動指導員等の配置を拡充<br/> 〔負担割合〕<br/> ・部活動指導員（原則単独指導・単独引率）<br/> 県 10/10<br/> ・地域連携指導員（単独指導・単独引率可）<br/> 県 10/10<br/> ・地域指導者（単独指導・引率不可）<br/> 県 10/10</p> <p>3 スクールロイヤー等の配置<br/> 困難事案等に対する学校からの相談に法的観点から助言などを行う「スクールロイヤー（弁護士）」等を配置</p> <p>4 スクールカウンセラーの配置<br/> 教育相談体制・機能の強化・充実を図るため、スクールカウンセラーを配置（配置先：県立高校、特別支援学校）</p> <p>5 スクールソーシャルワーカー活用事業</p> | <p>教育委員会</p> <p>[学校企画課]</p> <p>[学校教育課]</p> <p>[教育連携推進課]</p> <p>[保健体育課]</p> <p>[人権同和教育課]</p> |

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  | <p>学校と社会福祉の関係機関をつなぐ<br/>スクールソーシャルワーカーの活用</p> <p>6 日本語指導が必要な児童生徒等への支援体制の整備</p> <p>①宍道高校における日本語指導体制の強化</p> <p>②宍道高校以外の県立学校の支援体制を整備</p> <p>7 寄宿舎における外部舎監配置<br/>寄宿舎における舎監業務を教員から外部舎監に置き換え</p> <p>8 外国語指導助手の外部委託【新規】<br/>教員が行っている勤務調整や任用に係る手続き等の業務を段階的に外部委託へ移行</p> <p>9 教員サポーターの配置<br/>教員からの相談体制を強化するため、業務等の相談に応じる「教員サポーター」を配置</p> <p>10 長時間勤務者代替非常勤講師の配置【新規】<br/>部活動指導を担う教員について、時差出勤を活用し、時間外在校等時間を抑制する際、当該教員の時差出勤に係る授業等を代替する非常勤講師を配置</p> <p>11 次世代校務D X環境の整備【新規】<br/>インターネット上にある学習系システムとのデータ連携等により、教員の業務の効率化が可能となるクラウド型校務支援システムを導入<br/>〔負担割合〕 県 10/10</p> <p>12 高等学校入学者選拔出願システムの活用<br/>公立高等学校入学者選抜の出願に係る教職員への事務的負担を軽減するために、出願等の事務を一元管理するシステムを活用</p> <p>13 デジタル採点システムの活用<br/>定期試験・高校入試等の採点に係る教員の業務負担を軽減するため、効率的な採点等が可能となるデジタル採点システムを活用</p> <p>14 働き方改革校内推進者研修事業<br/>専門家による講義・ワークショップ等を活用し、学校における働き方改革の「きっかけ」を創出し、自走した取組になるよう伴走支援を実施</p> |  |
|--|--|--|--|--|--|

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                   | 予算額                         | 概要  | 部局名  |
|-----|----|-----------------------|-----------------------------|---|--|
| 273 | 拡充 | 教職員の働き方改革への支援（市町村立学校） | 578,026<br>[うち補正]<br>30,852 | <p>教職員が子どもに向き合える時間を確保し、教育の質の向上等を図るため、地域の幅広い人材を活用しつつ、公立小中学校等における教職員の働き方改革を推進する市町村を支援（No.124、126、128、175、187、267、268、269 一部再掲）</p> <p>1 全ての公立小中学校等へのスクール・サポート・スタッフの配置<br/>公立小中学校等の教員が行う事務作業等を代わって行うサポートスタッフを配置する市町村を支援<br/>[負担割合] 国 1/3・県 2/3</p> <p>2 公立小中学校等への教頭マネジメント支援員の配置 <b>【拡充】</b><br/>公立小中学校等の教頭の業務支援員を配置する市町村を支援<br/>[負担割合] 国 1/3・県 2/3</p> <p>3 部活動地域人材活用支援事業 <b>【拡充】</b><br/>教員に代わって専門的な指導を行う部活動指導員等の配置を拡充<br/>[負担割合]<br/>・部活動指導員（原則単独指導・単独引率）<br/>国 1/3・県 1/3・市町村 1/3<br/>・地域連携指導員（単独指導・単独引率可）<br/>県 2/3・市町村 1/3<br/>・地域指導者（単独指導・引率不可）<br/>県 2/3・市町村 1/3</p> <p>4 スクールカウンセラーの配置<br/>教育相談体制・機能の強化・充実を図るため、スクールカウンセラーを配置（配置先：公立小・中・義務教育学校）</p> <p>5 スクールソーシャルワーカー活用事業<br/>学校と社会福祉の関係機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの活用</p> <p>6 帰国・外国人児童生徒に対し支援体制を整備する市町村を支援<br/>日本語指導が必要な小中学校に教員を配置<br/>[R 8 予定]<br/>・小学校 14 人<br/>・中学校 8 人</p> | <p>教育委員会<br/>[学校企画課]<br/>[学校教育課]<br/>[保健体育課]<br/>[人権同和教育課]</p> |

|  |  |  |  |   |  |
|--|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  | <p>7 部活動の地域展開・地域クラブ活動<br/>推進事業</p> <p>公立中学校部活動の地域移行（地<br/>域展開）に向けて、関係者との連絡調<br/>整・指導補助等の体制や運営団体・実<br/>施主体の整備、指導者の確保への支<br/>援等に関する補助事業を実施</p> <p>〔負担割合〕</p> <p>国 1/3・県 1/3・市町村 1/3</p> |  |
|--|--|--|--|---|--|

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名       | 予算額                         | 概要  | 部局名              |
|-----|----|-----------|-----------------------------|---|------------------|
| 274 | 拡充 | 部活動改革支援事業 | 225,077<br>[うち補正]<br>30,852 | <p>将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、地域人材の活用等により、部活動における教員の働き方改革等を推進（No.187 再掲、No.272、273 一部再掲）</p> <p>①部活動地域人材活用支援事業【拡充】<br/>教員に代わって専門的な指導を行う部活動指導員等の配置を拡充<br/>[負担割合]<br/>・部活動指導員（原則単独指導・単独引率）<br/>県立学校 県 10/10<br/>中学校 国 1/3・県 1/3・市町村 1/3<br/>・地域連携指導員（単独指導・単独引率可）<br/>県立学校 県 10/10<br/>中学校 県 2/3・市町村 1/3<br/>・地域指導者（単独指導・引率不可）<br/>県立学校 県 10/10<br/>中学校 県 2/3・市町村 1/3</p> <p>②部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業<br/>公立中学校部活動の地域移行（地域展開）に向けて、関係者との連絡調整・指導補助等の体制や運営団体・実施主体の整備、指導者の確保への支援等に関する補助事業を実施<br/>[負担割合]<br/>国 1/3・県 1/3・市町村 1/3</p> | 教育委員会<br>[保健体育課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                         | 予算額     | 概要  | 部局名                              |
|-----|----|-----------------------------|---------|---|----------------------------------|
| 275 |    | 教員確保対策                      | 19,579  | <p>深刻な教員不足に対応するため、他県の教員や異業種へ就職した人材の取り込みや教職の魅力発信強化等の取組を総合的に実施</p> <p>①教員に関心を持つ高校生・大学生に向けた情報発信</p> <p>②異業種に就職した教員免許状保有者や他県の教員等の確保に向けた取組を強化</p>  | 教育委員会<br>[学校企画課]                 |
| 276 |    | スクール・サポート・スタッフ(緊急校務支援型)配置事業 | 33,938  | <p>公立小中学校等において、県が配置すべき常勤の教員に未配置が発生した場合に、教員の校務負担を軽減するため、スクール・サポート・スタッフ(緊急校務支援型)を任用する市町村を支援</p> <p>[負担割合] 県 10/10</p>   | 教育委員会<br>[学校企画課]                 |
| 277 | 拡充 | 江津地域県立高等学校新設整備事業            | 553,818 | <p>江津地域における新設校開校に向けた校舎等の施設整備及び女子生徒が利用できるよう既存寄宿舎の改修を実施</p> <p>①寄宿舎の改修</p> <p>[事業期間] R 7～8</p> <p>[事業費] 4.5 億円</p> <p>[R 8 事業費] 4.4 億円</p> <p>[R 8 事業内容]</p> <p>改修工事、備品購入等</p> <p>②校舎等の施設整備 <b>【新規】</b></p> <p>[事業期間] R 7～13(第1期工事)</p> <p>※R 7年度に測量調査を一部実施済み</p> <p>[事業費] 80.8 億円</p> <p>[R 8 事業費] 1.1 億円</p> <p>[R 8 事業内容]</p> <p>基本設計・実施設計等</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <p>第1期工事後に想定される施設整備</p> <p>・屋内運動場改築・解体、グラウンド造成、江津高校校舎解体等</p> | 教育委員会<br>[教育施設課]<br>総務部<br>[管財課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                           | 予算額                          | 概要   | 部局名              |
|-----|----|-------------------------------|------------------------------|--|------------------|
| 278 |    | 江津地域における<br>県立高等学校新設<br>校開校準備 | 5,683                        | 江津地域における新設校開校に向けて<br>必要となる環境整備を実施<br>・部活動等の合同実施に向けた対応<br>江津高校・江津工業高校の2校合<br>同による部活動等の運営に向け、両<br>校間の生徒・用具を移送するための<br>バスを運行                                    | 教育委員会<br>[学校企画課] |
| 279 |    | 宍道高等学校整備<br>事業                | 78,020                       | 日本語指導が必要な生徒や多人数集団<br>になじめない等、教育上の配慮が必要な<br>生徒の増加に伴う教室不足・狭隘化や、多<br>様な学びへの対応のため、施設整備を実<br>施 (No.127 再掲)<br>[事業期間] R 7～18<br>[総事業費] 8.0 億円<br>[R 8 事業内容] 校舎リース等 | 教育委員会<br>[教育施設課] |
| 280 |    | 特別支援学校校舎<br>等整備事業             | 378,303<br>[うち補正]<br>105,897 | 浜田養護学校の児童生徒数増加に伴う<br>教室不足や校舎の老朽化・狭隘化の解消<br>に向けた施設整備を実施<br>[事業期間] R 5～11<br>[総事業費] 40.4 億円<br>[R 8 事業内容] 建築工事等  | 教育委員会<br>[教育施設課] |
| 281 |    | 社会教育士等養<br>成・育成事業             | 9,324                        | 高等教育機関等と連携・協働した社会<br>教育士等の養成・育成に向けた取組を推<br>進 (No.189 再掲)   | 教育委員会<br>[社会教育課] |

(単位：千円)

| No. | 区分 | 事業名                      | 予算額                        | 概要  | 部局名              |
|-----|----|--------------------------|----------------------------|---|------------------|
| 282 |    | みんなでチャレンジ！しまねを創る人づくり支援事業 | 6,570                      | <p>地域づくりを担う人づくりの基盤となる市町村等の社会教育機能強化を図るため、社会教育に関わる人材のスキルアップに取り組む市町村等を支援（No.188 再掲）</p> <p>①地域課題解決支援型<br/> [助成率] 活用1年目 1/2<br/> 活用2年目 1/3<br/> [助成上限額] 20万円/公民館等</p> <p>②体験活動支援型<br/> [助成率] 1/2<br/> [助成上限額] 20万円/公民館等</p> <p>③「ふるさと活動」支援型<br/> [助成率]活用1年目 1/2<br/> 活用2～3年目 1/3<br/> [助成上限額]新規団体 50万円<br/> 既存団体 30万円</p> | 教育委員会<br>[社会教育課] |
| 283 |    | 少年自然の家事業<br>(照明LED化)     | 50,171<br>[うち補正]<br>50,171 | 少年自然の家における館内照明のLED化を実施  | 教育委員会<br>[社会教育課] |